

第 102 回 認定再生医療等委員会「がん免疫細胞療法審査委員会」議事録

日時	2026 年 2 月 3 日 18 時 30 分～20 時 00 分
場所	東京都品川区西五反田 KANO ビル 8 階 腫瘍免疫学会・会議室

出席委員

	氏名	性別	構成要件	出欠	利害関係		備考
					審査対象	委員会設置者	
委員長	福本 学	男	a-1	出	無	有	
委員	勅使河原 計介	男	a-1	欠	有	無	
	近藤 守寛	男	a-1	欠	無	無	
	宮本 正章	男	a-1	出	無	無	WEB 参加
	山田 雅彦	男	a-2	出	有	無	WEB 参加
	岩波 修	男	b	出	無	無	WEB 参加
	藤井 真則	男	c	出	有	無	
	齋野 亨	男	c	欠	有	無	
	鈴木 絵里	女	c	出	無	無	WEB 参加
	田中 千秋	女	c	出	無	無	WEB 参加
	宮崎 幸男	男	c	欠	無	無	
	森山 建司	男	c	出	無	無	WEB 参加

構成要件：a-1 医学・医療 a-2 臨床医 b 法律・生命倫理 c 一般

事務局より審議に先立ち、以下確認と報告が行われた。

出席者は 8 名である。山田雅彦委員と藤井真則委員は審査対象と密接な関係を有する者であるため、審査には参加しない。同 2 名を除く出席委員 6 名は審査対象に関して利益相反はなく、審査に必要な定足数に関する要件を満たしている。

● 審議案件と結果

【定期報告】

記載事項の書式は、「別紙 2 再生医療等提供状況定期報告書の記載要領について」をもとに、すべて書式を満たしていることを確認した。

定期報告の審査においては個々の症例について具体的な症例検討が行われるが、個人情報保護の観点から患者個人を特定できる可能性のある記述は公開が前提の議事録からは削除する。

但し、今回の各医療機関からの定期報告の中で、特筆すべき著効について、実施医療機関を臥せた上で以下の通り記述する。

（著効例 1）胆管がん、ステージ IVa 手術不能、抗がん剤投与もマーカー上昇、かなり厳しい状況から ANK 実施。その後 1 年以上病状を維持。

（著効例 2）乳がん再発骨転移、ホルモン療法実施も副作用により中止。ANK 実施により骨転移の疼痛

が消え、その後の経過良好。

（著効例3）膀胱癌 ステージⅢ 筋肉まで浸潤、手術。リンパ節転移が疑われた。抗がん剤後、再手術。ANK 実施後に職場復帰。以後、体調よく免疫チェックポイント阻害薬の投与を開始。

（著効例4）膵癌ステージⅣ、腹膜転移、肝転移。抗がん剤1ライン終了後、ANK 実施、画像上、腫瘍縮小、マーカー値一桁低下。その後、抗がん剤2ndラインを継続。

#### 【定期報告 #01】

再生医療等提供機関	医療法人綺山会大久保内科外科（内視鏡）クリニック
再生医療等の名称	NK細胞を用いる、悪性新生物に対するANK自己リンパ球免疫療法
施設管理者名	大久保 雅彦
計画番号	PC7150041
事務局受領日	2026年1月20日
議決不参加者	山田 雅彦 委員、藤井 真則 委員

#### 審査結果 承認

当該治療に直接由来する疾病等の発生はなかった。

実施された全症例について、ANK療法独自の有効性の指標を用いて評価された。加えて症例の治療経過報告があり審査を行った。結果、以下の見解が委員会意見として全会一致で採択された。

引き続き安全性に配慮して再生医療等の提供を行うことにより、更なる知見が積み上げられることを期待する。

提出された再生医療等提供状況定期報告書は必要事項を満たしていると判断する。加えて再生医療等の提供に関し安全性が確保されていると考え、当該療機関が継続して再生医療等の提供を行うことは差し支えない。

#### 【定期報告 #02】

再生医療等提供機関	医療法人秀心会さし整形外科・内科
再生医療等の名称	NK細胞を用いる、悪性新生物に対するANK自己リンパ球免疫療法
施設管理者名	岸 秀行
計画番号	PC3150263
事務局受領日	2026年1月27日
議決不参加者	山田 雅彦 委員、藤井 真則 委員

#### 審査結果 承認

当該治療に直接由来する疾病等の発生はなかった。

実施された全症例について、ANK療法独自の有効性の指標を用いて評価された。加えて症例の治療経過報告があり審査を行った。結果、以下の見解が委員会意見として全会一致で採択された。

引き続き安全性に配慮して再生医療等の提供を行うことにより、更なる知見が積み上げられることを期待する。

提出された再生医療等提供状況定期報告書は必要事項を満たしていると判断する。加えて再生医療等の提供に関し安全性が確保されていると考え、当該療機関が継続して再生医療等の提供を行うことは差し支えない。

【定期報告 #03】

再生医療等提供機関	医療法人総合麻里メディカル Dr. MARI CLINIC 栄院
再生医療等の名称	NK 細胞を用いる、悪性新生物に対する ANK 自己リンパ球免疫療法
施設管理者名	七浦 祐子
計画番号	PC4150156
事務局受領日	2026 年 1 月 27 日
議決不参加者	山田 雅彦 委員、藤井 真則 委員

審査結果 承認

当該治療に直接由来する疾病等の発生はなかった。

実施された全症例について、ANK 療法独自の有効性の指標を用いて評価された。加えて症例の治療経過報告があり審査を行った。結果、以下の見解が委員会意見として全会一致で採択された。

引き続き安全性に配慮して再生医療等の提供を行うことにより、更なる知見が積み上げられることを期待する。

提出された再生医療等提供状況定期報告書は必要事項を満たしていると判断する。加えて再生医療等の提供に関し安全性が確保されていると考え、当該療機関が継続して再生医療等の提供を行うことは差し支えない。

【定期報告 #04】

再生医療等提供機関	松山協和病院
再生医療等の名称	悪性新生物に対する ANK 細胞 (Amplified Natural Killer 細胞) 自家を用いる、ANK 自己リンパ球免疫療法 (ANK 療法)
施設管理者名	堀内 修三
計画番号	PC6150030
事務局受領日	2026 年 1 月 27 日
議決不参加者	山田 雅彦 委員、藤井 真則 委員

審査結果 承認

当該治療に直接由来する疾病等の発生はなかった。

実施された全症例について、ANK 療法独自の有効性の指標を用いて評価された。加えて症例の治療経過報告があり審査を行った。結果、以下の見解が委員会意見として全会一致で採択された。

引き続き安全性に配慮して再生医療等の提供を行うことにより、更なる知見が積み上げられることを期待する。

提出された再生医療等提供状況定期報告書は必要事項を満たしていると判断する。加えて再生医療等の提供に関し安全性が確保されていると考え、当該療機関が継続して再生医療等の提供を行うことは差し支えない。

【定期報告 #05】

再生医療等提供機関	医療法人松樹会松本クリニック
再生医療等の名称	NK 細胞を用いる、悪性新生物に対する ANK 自己リンパ球免疫療法
施設管理者名	松本 伸治

計画番号	PC5220052
事務局受領日	2026年1月27日
議決不参加者	山田 雅彦 委員、藤井 真則 委員

審査結果 承認

当該治療に直接由来する疾病等の発生はなかった。

実施された全症例について、ANK 療法独自の有効性の指標を用いて評価された。加えて症例の治療経過報告があり審査を行った。結果、以下の見解が委員会意見として全会一致で採択された。

引き続き安全性に配慮して再生医療等の提供を行うことにより、更なる知見が積み上げられることを期待する。

提出された再生医療等提供状況定期報告書は必要事項を満たしていると判断する。加えて再生医療等の提供に関し安全性が確保されていると考え、当該療機関が継続して再生医療等の提供を行うことは差し支えない。

【定期報告 #06】

再生医療等提供機関	医療法人総合麻里メディカル Dr. MARI CLINIC 栄院
再生医療等の名称	CTL を用いる、悪性新生物に対する CTL 療法
施設管理者名	七浦 祐子
計画番号	PC4150156
事務局受領日	2026年1月27日
議決不参加者	山田 雅彦 委員、藤井 真則 委員

審査結果 承認

審査結果 承認

当該治療に直接由来する疾病等の発生はなかった。

実施された症例について、ANK 療法に準じた独自の有効性の指標を用いて評価された。加えて症例の治療経過報告があり審査を行った。結果、以下の見解が委員会意見として全会一致で採択された。

引き続き安全性に配慮して再生医療等の提供を行うことにより、更なる知見が積み上げられることを期待する。

提出された再生医療等提供状況定期報告書は必要事項を満たしていると判断する。加えて再生医療等の提供に関し安全性が確保されていると考え、当該療機関が継続して再生医療等の提供を行うことは差し支えない。

● 協議事項 なし

● 報告・連絡・依頼事項

次回委員会日程：2026年3月17日 18:30～

以上をもって閉会となった。